

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
家計動向関連 (四国)		-	-	
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの終息とともに消費活動が回復していく。	
		住関連専門店（経営者）	・今は新型コロナウイルスの影響で非常に大変な時期だが、3か月先以降は、多少は新型コロナウイルスが終息し、以前よりは良くなる。	
		その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	・緊急事態宣言がどのような形で解除されるかにもよるが、現在よりは良くなっていることを期待する。	
		商店街（事務局長）	・先進国の一部では、政府の方針で自粛を解除して経済活動再開にかじを切るところも現れている。早く日本も経済活動が再開できるように、今は国民全体で自粛に専念するしかない。	
		商店街（代表者）	・5月の連休も休業する店がかなり多い状態である。早く終息へ向かっていかなければ、人出は期待できないし、いつ景気が底を打って上昇するか、めどが全く立てられない状態である。	
		百貨店（販売促進）	・新型コロナウイルスの影響に関して先行きが不透明であり、通常の経済状況に戻る時期が想定できない。	
		スーパー（企画担当）	・まとめ買いの傾向は継続すると見ており、現状品薄の商品も次第に回復すると見込まれる。外食の頻度が回復しない限り、スーパーへの来客の集中は継続する。	
		コンビニ（営業担当）	・新型コロナウイルスによる自粛期間は長引く。	
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスがいつ終息するか次第である。	
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの終息時期の予測がつかず、お祭りや高校総体等のイベントも続々と中止になっている。夜の繁華街ではスナックや居酒屋等が開店していないとタクシーの利用客は少なく、また昼でも人の動きが止まっているため利用頻度は少ない。	
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの状況にもよるが、改善される見込みは薄い。	
		競輪競馬（マネージャー）	・当面、新型コロナウイルスの終息は見通しが立たず、新聞やメディア等で長期化が報道されており景気の低迷は続く。	
		家電量販店（副店長）	・全般的に景気が悪くなっているため、必需品以外の購入は見込めない。	
		乗用車販売店（従業員）	・販売とサービス部門共に新型コロナウイルスの影響が出ており、終息しない限り良くはならない。	
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、来客数も減少し、売上も増加しない。	
		その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	・このまま新型コロナウイルスの影響が続けば、外食事業が継続困難な状況になる。	
		通信会社（営業部長）	・消費者の節約意識が一層増す。	
		×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの終息が見えないなかで、客の外出自粛と政府の休業要請で二重苦の状態であり、緊急事態宣言の解除後もすぐには回復が見込めない。
		×	商店街（代表者）	・緊急事態宣言による自粛規制がいつまで続くか分からないため、3か月先の景気状況を予測するのは困難である。ただ、この事態をきっかけに従来の大都市集中型の社会構造に変化が現れ、特色ある地方都市が見直されることを期待する。
	×	一般小売店〔生花〕（経営者）	・新型コロナウイルスが落ち着くまでは必要最低限の商品のみの売上となり、この状況は当分続く。	
	×	一般小売店〔酒〕（販売担当）	・新型コロナウイルスの終息までどれくらい時間が掛かるか分からないが、それまで店を維持できるか深刻な問題である。	
	×	百貨店（企画担当）	・8月の催事も開催できないものが出てくるなど、回復の見通しは立たない。	
	×	スーパー（財務担当）	・経済や雇用、収入が相当悪化し、節約志向が強烈に強まる。	
	×	コンビニ（店長）	・コンビニのようなニッチな需要に支えられている業界は、心理的に余裕のない状況下では売上の増加は難しく、また回復の見通しも立たない。	

	×	コンビニ（店長）	・自粛ムードが日に日に広がっており、特に日曜日は来客数が週を追うごとに落ち込んでいる。
	×	コンビニ（総務）	・新型コロナウイルスの影響で先行きが見えず経済が疲弊していくなかでは、悪化の一途をたどる。
	×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルス問題は年末までは終息せず、あと1年は景気回復は難しい。
	×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響による経済の停滞により、今後も景気は悪化する。
	×	衣料品専門店（経営者）	・緊急事態宣言が更に1か月延長される見込みとのニュースを見たので、5月一杯まで先行きは相当厳しい。
	×	衣料品専門店（営業責任者）	・新型コロナウイルスの特効薬やワクチンが開発されない限りこの状況は続く。仕入れも止まっており、現在の状況が改善されても、通常どおりに販売が再開されるには時間が掛かる。
	×	家電量販店（店員）	・給与やボーナスの不安があるなか買い控えが始まっている。
	×	乗用車販売業（営業担当）	・新型コロナウイルスの状況次第で変わってくるが、このままでは外出制限や時短営業などで悪くなる。
	×	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で今後の収入が大幅に減少すると予想する人が多いため、必要な物以外の購入には慎重になっていく。
	×	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスが終息しなければ、難しい状況が続く。
	×	乗用車販売店（役員）	・新型コロナウイルスの影響としかいえない。
	×	一般レストラン（経営者）	・先行きが全く見えず非常に不安である。様々な対策を実行しているが、長引けば会社の体力が持たない。
	×	観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルスが国内で終息したとしても世界的な影響は継続し、観光業全体の正常化には1年以上掛かる。
	×	都市型ホテル（経営者）	・自社でも客と従業員の安全確保を優先し5月一杯の休業を決断した。新型コロナウイルスの影響で来客数も減少し、また、いつ終息するのかも全く分からない状況であるため、今後の予想を立てることも難しい。
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスが終息しない限り、更に状況が悪化するような雰囲気である。タクシー業界でも倒産する会社が出てきており、先行きは良くなるどころか、更に悪化する。
	×	通信会社社員	・新型コロナウイルスの終息が見通せない。
	×	通信会社（支店長）	・新型コロナウイルスの影響がいつ終息に向かうか不透明である。
	×	美容室（経営者）	・先行きの予測が全くできず、たとえ緊急事態宣言が解除されたとしても、すぐに人が動くとも限らず、元の経営状態に戻るのはまだまだ先になる。今回の新型コロナウイルスの爪痕は大きく、それをリカバリーするだけの体力が各サロンに残っているかも分からない。
	×	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスが終息しなければ良くならない。
	×	設計事務所（所長）	・建設関連のような請負業の場合、現在は前年の積み込みで何とか保っているが、3か月後以降になると急激に資金がショートする会社が出てくる。
企業 動向 関連 (四国)		-	-
		電気機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスが一旦終息すれば、県外で受注分の仕事を再開できるので、良い方向へ向かう。
		税理士	・新型コロナウイルスの今後の動向次第だが、現状の状況から脱却するための方法を顧問先が取ることにより、ある程度は良くなる。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経理）	・新型コロナウイルスの影響で除菌ウェットクリーナーの受注が増加している。この影響で人々の身の回りを清潔に保とうという意識が高くなり、今後、日常生活において使用される頻度が高くなる。
		広告代理店（経営者）	・新型コロナウイルス感染拡大防止のための緊急事態宣言の期間や今後の影響が予測できない。夏頃までのイベント等も中止決定が増加しており悪い状況が続く。
		建設業（経営者）	・新型コロナウイルスの状況次第である。
		農林水産業（職員）	・現在、各業界が新型コロナウイルスの影響をじわじわ受けており、今後、そのダメージが表面化し厳しい状況となる。
		×	食料品製造業（経営者）

		繊維工業（経営者）	・原料の綿糸納入商社の中では、売上が前年比40～50%減少しているところもあり、関連加工場では休業している業者もある。4月は当社のガーゼハンカチを利用した簡易マスクに注文が殺到し、売上の落ち込みを少しはカバーできたが、マスクが少し出回り始める5～6月は相当な落ち込みとなる。今後は製造部門と出荷部門の社員の交代シフト勤務も検討している。
		木材木製品製造業（営業部長）	・新型コロナウイルス対策で緊急事態宣言が発令され、住宅展示場などにほとんど来場がない。受注残があるため仕事が突然なくなることはないが、今後大きく目減りしていき、夏以降はほとんど受注が見込めない状態である。
		化学工業（所長）	・新型コロナウイルスの終息が見えず良くなる見込みはない。
		鉄鋼業（総務部長）	・新型コロナウイルスの影響がいつまで続くのか不明だが、先行き悪化は間違いない。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・新型コロナウイルスの経済への影響は図りかねる。
		建設業（経営者）	・事業活動並びに個人行動が制約を受けている今のような状態が続けば、事業の売上額等の経営指標の低下が生じる。また社員の景況に対する不安感や閉塞感が一段と進む。
		建設業（総務）	・新型コロナウイルスの影響が大きい。
		輸送業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が大きい。
		輸送業（営業）	・新型コロナウイルスの感染拡大がいつ終息するのか予想がつかない現状において、景気の好転は期待できない。また、消費の低迷による景気の減速が長期化すれば、収益の悪化による倒産や廃業も予想されることから、取引先の与信にはいつも以上に慎重にならざるを得ない。
		輸送業（経理）	・新型コロナウイルスの感染拡大防止のための移動自粛に起因する経済や物流動向の低迷が今後も継続する。企業の正常な動きを阻害し、生活必需品以外の多くの産業に関する物流を世界的に縮小させていく。
		通信業（総務担当）	・現状では回復の兆しが見えず、今後ますます悪くなる。
		金融業（副支店長）	・新型コロナウイルスの終息時期は不透明であり、個人の消費意欲も減退している。今後、現在打撃が少ない業種にも影響が及ぶ。
雇用 関連 (四国)		-	-
		-	-
		-	-
		職業安定所（求人開発）	・新型コロナウイルスの影響で休業している事業所からの雇用調整助成金の相談が多数ある。感染拡大が終息する気配がみられない現状ではあるが、緊急事態宣言等による様々な取組により、現在の状況が2～3か月後には若干改善するのではないかと期待している。
		学校〔大学〕（就職担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大防止策による影響が大きい。
		人材派遣会社（営業）	・先行きは不透明で、再開のめどは立たない。年間を通じて夏までが集客のピークとなる公共施設運営団体や企業は、今季絶望的な売上減少が見込まれる。自粛期間中でも固定経費をできるだけ抑え、1日でも早く終息を迎えることが景気悪化を防ぐ条件である。
		人材派遣会社（営業担当）	・先行きが不透明で、派遣の求人数が減少しており、契約期間満了後のスタッフの派遣先がない。
		人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で、輸送や観光関連業種では人員削減等の措置が始まっている。
		求人情報誌（営業）	・新型コロナウイルスの感染者数の増加は一旦止まるかもしれないが、根本的な解決に至らない場合、日常の活動を再開したとたんに再度感染拡大する可能性がある。短期的に景気が良くなる兆しはなく、経済活動の本格的な再開は1年後以降となる。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスの影響がすぐに終息することはなく、周りの景気が良くなって初めて広告業界も活況になる。
		職業安定所（職員）	・今後は大企業においても人員削減が進み、失業者の増加が懸念される。
		民間職業紹介機関（所長）	・老人介護施設や身体障害者支援施設への訪問の際は、検温や手洗い等の実施が義務付けられており、施設側の厳重な感染防止対策が感じられ、極力外部からの訪問を避けている様子である。